

# 米国の循環型経済の 普及に向けた取り組み実態調査

アリゾナ州 - フェニックス、グレンデール  
カリフォルニア州 - サンディエゴ、ロサンゼルス

## 参加のご案内



調査期間：2025年4月23日（水）～5月1日（木）  
9日間

**調査団長：佐藤 泉（弁護士）**

旅行企画・実施：観光庁長官登録旅行業第1139号、JATA正会員  
テクニカルコミュニケーションズインテリジェントジャパン株式会社  
（ティ・シー・アイ・ジャパン株式会社）  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-20 虎ノ門実業会館3階  
TEL：03-3508-1972 FAX:03-3592-1853

# 米国の循環型経済の普及に向けた取り組み実態調査

## 実施要綱

### 趣旨

アメリカは産業廃棄物の排出量が多いにも関わらず、中間処理についての規制が厳しくない。そのため、半分以上が埋立処理をされている。また、日本においては建築物などから排出される廃棄物は産業廃棄物として処理されるが、アメリカでは産業と一般の区別がない。すべて一般廃棄物埋立処分場で処理されているのが現状である。

アメリカの埋立処分場施設は2,000か所あるとされ、衛生埋立法に則って処分されているものの、破棄物が腐食するまでに時間がかかり、施設のランニングコストがかかることと、施設の処理能力が追いつかないことが懸念されている。

経済成長と都市の廃棄物量には密接な関係があり1人当たりのGDPが世界6位(2021年)と高い順位を保っているアメリカは必然的に廃棄物の量が多くなる。アメリカは廃棄物の量が多く、埋め立てによって処分される割合が高い。そして排出量は経済発展と人口増加に伴って年々増加することが見込まれている。この商環境がアメリカの廃棄物処理大手企業の規模拡大を狙ったM&Aを後押しし、寡占化を加速させた。ウェイストマネジメント(WM)は、公共団体や企業、一般家庭の廃棄物を処理するトップ企業でアメリカやカナダ、プエルトリコで廃棄物の埋め立て、ごみの回収、リサイクルサービスを展開している。埋立地のシェアは47%と高い割合を占めている。これからはバイオガスの再利用や廃棄物そのもののリサイクルなど新たな取り組みに向けた事業への投資の加速が見込まれる。

寡占化が進む廃棄物業界のゲームチェンジを虎視眈々と狙うスタートアップも出てきて、ごみ業界のUberと呼ばれているルビコン・グローバルは、2017年に時価総額10億ドルを突破し、ユニコーン企業の仲間入りを果たした。ルビコンはごみを収集する企業や行政機関と、ごみを捨てたい企業や一般家庭をアプリで効率的に繋ぐサービスを展開している。

方や半導体企業が集中し、拡大し続けるビジネスの活気ある背景にあるアリゾナ州フェニックスは、イノベーションと持続可能性の象徴である。この都市では電子機器に対する前例のない重要が高まっており、電子機器のリサイクルの極めて重要な役割に注目が集まっている。

共和党のトランプ政権へ政治的に大きなかじ取りが変換されるアメリカにおける廃棄物処理を巡る新しい動向や循環型経済の構築を目ざす動向を視察し、今後の我が国における循環型経済の実現に寄与するものとする。

1. 旅行期間 2025年4月23日(水)～5月1日(木) 9日間
2. 団 長 佐藤 泉(弁護士)
3. 視察調査先(予定) \*相手方の都合により変更になる場合もございますので、ご了承下さい。

### フェニックス

(アリゾナ州)

※ フェニックス市

ー環境政策や循環経済政策の推進

※ リソースイノベーションセンター(RIC)

ー各種リサイクルセンターの集積地

※ Global Electronic Recycling

ー商業用電子機器のリサイクルソリューション

※ グレンデール市公共事業部

ーソフトウェアベースのごみ収集の回収ルート効率化

### サンディエゴ

(カリフォルニア州)

※ サン・ディエゴ市

ーゼロ廃棄物計画について

※ ミラマー埋め立て地とリサイクルセンター

ー埋め立てごみの削減

### ロサンゼルス

\* ByFusion

ープラスチックごみを再利用した建築用ブロック

4. 締め切り日 2月28日(金)

# 日 程 表

2025年2月3日作成

日数	月 日 (曜)	都 市 名	現地時間	交通機関	摘 要
1	4月23日 (水)	羽田 発着 ロサンゼルス 発着 ロサンゼルス 発着 フェニックス 発着	22:55 16:35 19:10 21:17	NH-108 UA-1227 専用バス	全日空にて、ロサンゼルスへ 乗り継ぎ、フェニックスへ  (フェニックス泊)
2	4月24日 (木)	フェニックス		専用バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>✚ <b>フェニックス市</b></li> <li>ー環境政策や循環型都市づくりについて</li> <li>✚ <b>リソースイノベーションセンター(RIC)</b></li> <li>ー各種リサイクルセンターの現場視察</li> </ul> (フェニックス泊)
3	4月25日 (金)	フェニックス		専用バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>✚ <b>Global Electronic Recycling 社</b></li> <li>ー電子機器リサイクル</li> <li>✚ <b>グレンデール市公共事業部訪問</b></li> <li>ーごみ収集車の回収ルートの効率化</li> </ul> (フェニックス泊)
4	4月26日 (土)	フェニックス 発着 ロサンゼルス 発着 ↓(20km) パサデナ	10:15 11:47	専用バス UA-2614 専用バス	空路、ロサンゼルスへ  午後：自由行動 オールドパサデナでの散策、ショッピングをお楽しみ下さい。  (パサデナ泊)
5	4月27日 (日)	ロサンゼルス		専用バス	ロサンゼルス市内見学 ・サンタモニカ&ビバリーヒルズ ・ハリウッド ・ドジャーズスタジアム  (パサデナ泊)
6	4月28日 (月)	ロサンゼルス ↓(200km) サンディエゴ		専用バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>✚ <b>ByFusion 訪問</b></li> <li>ープラスチックごみを再利用した建築用ブロック「ByBlock」について</li> </ul> 午後、サンディエゴへ  (サンディエゴ泊)
7	4月29日 (火)	サンディエゴ		専用バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>✚ <b>サンディエゴ市訪問</b></li> <li>ーゼロ廃棄物計画について</li> <li>✚ <b>ミラマー埋め立て地とリサイクルセンター</b></li> <li>ー埋め立てゴミの量の削減を目的に</li> </ul> (サンディエゴ泊)
8	4月30日 (水)	サンディエゴ ↓(200km) ロサンゼルス 発	12:35	専用バス NH-005	専用バスにて、ロサンゼルスへ 全日空にて、帰国の途へ  (機内泊)
9	5月1日 (木)	成田 着	16:30		

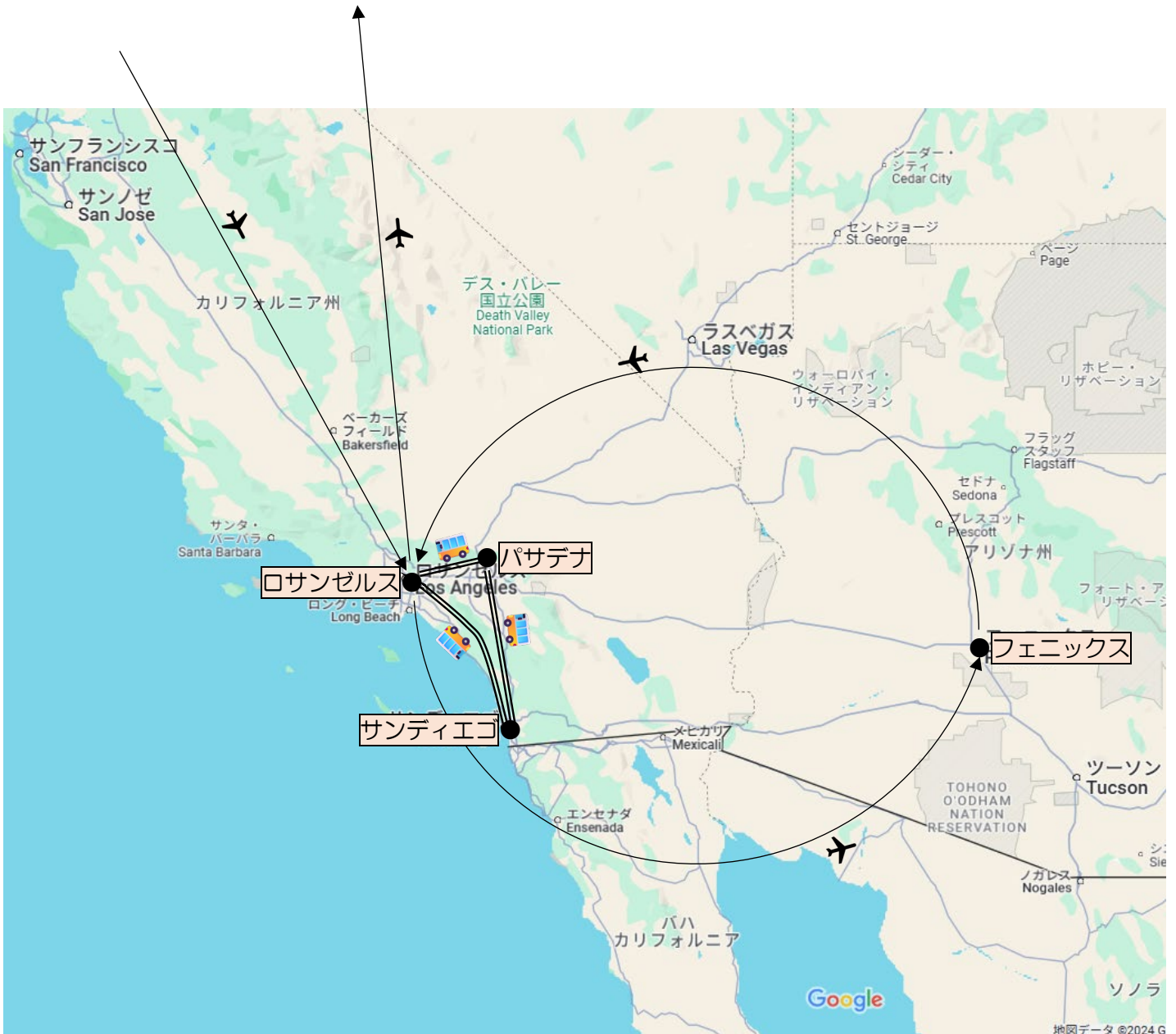
この日程表は作成当日の最新の資料に基づいていますが、将来、運輸機関の運行スケジュールの改訂、その他の理由により予告なしに変更される場合もございます。

# ご旅行行程図

航空機



専用バス



# 視察先概要

月日

都市

視察先

4月24日(木)

フェニックス

フェニックス市公共事業部

## -フェニックスのゼロ・ウェイストと循環型経済ロードマップ

固形廃棄物部門に 600 人以上の従業員を擁するフェニックス公共事業局は、40 万世帯以上にゴミ、リサイクル、その他の廃棄物転換サービスを提供している。コミットメントは、廃棄物転換教育、便利で信頼性の高い転換プログラムを提供することで、より持続可能なフェニックスを創造し、促進し、組織や企業と協力して持続可能性に基づいた強力な経済を開発することである。

ゼロ・ウェイストと循環型経済ロードマップは、市の気候行動計画で設定された目標に沿って、2030 年までに廃棄物の 50%転用、2050 年までに廃棄物ゼロを目指している。このロードマップの目的は、過去の成果を強調し、市が廃棄物転用目標を達成するのに役立つ具体的なアプローチと短期から長期の行動を推奨することである。市は、材料の再利用とリサイクルの取り組みを増やすための努力を最大限に行い、フェニックスの住民が埋め立て地に送る無駄な資源の量をさらに転用することを目指す。

4月24日(木)

フェニックス

リソース・イノベーションキャンパス(RIC)

## -各種リサイクルセンターの現場視察

リソース・イノベーションキャンパス (RIC) は、フェニックスの南部中継ステーション、材料回収施設、堆肥施設、閉鎖型埋立地の近くの戦略的なエリアに割り当てられた約 40 エーカーの土地である。2015 年、フェニックス市議会は RIC の開発を承認し、概念設計は 2017 年に提出され、マスタープランは 2019 年に提出されたが、実施されることはなかった。このサイトは、フェニックスの循環型経済の創出と成長に専念し、2030 年までに廃棄物の 50%転換、2050 年までに廃棄物ゼロを達成するというフェニックスの目標の達成に貢献することを目指す。RIC は、製造プロセス、廃棄物を資源に変える変換技術を誘致するためのハブとして構想されており、貴重な官民パートナーシップの創出と循環型企業の成長のテストベッドとしての役割を果たす。このコンペを通じて、フェニックスは、持続可能な水の使用を保証し、連邦の大気質基準を満たす、カーボンニュートラルでエネルギー効率がよく、耐熱性のあるソリューションを使用して最大 20 エーカーの開発を目指している。

RIC は、エストレラ ビレッジ (EV) コミュニティのダウンタウン エリア/中央ビジネス地区から南にわずか数マイルのところにあります。EV は過去 50 年間、フェニックスの主要な工業、商業、農業の中心地であり、より繁栄した環境を育むために再生が必要な歴史的な地区がある。この地域は、レッドライニングの歴史を持つ他の村の近くに位置し、市内の困窮地域 (機会ゾーン) としても見られている。さらに、RIC は、リオリマジンドプロジェクト (リオ サラド川沿いの公有地の再活性化を先導し、持続可能で公平かつ包括的な商業と雇用の成長を促進する郡全体のグリーン インフラストラクチャ プロジェクト) と関連している。これは、成長を続ける市内のエリアで循環性と廃棄物管理に重点を置いた新しい持続可能性ハブを生み出すユニークな機会である。

RIC は、市の目標である廃棄物を埋め立て地から転用するという目標を達成する循環型経済の創出と成長に取り組んでいる。RIC は、廃棄物を資源に変える製造プロセスと変換技術を誘致することで、フェニックスが経済発展の恩恵を受けることに貢献する。

RIC には 5 つの主要コンポーネントがある。

- **27 番街中継ステーション** – 革新者たちが廃棄物を資源に変える新しい方法を見つけると、中継ステーションからの原料を新しい製品に利用することができ、より多くの量を埋立地から市の循環型経済に転用できるようになる。
- **材料回収施設 (MRF)** – イノベーターが廃棄物を資源に変える新しい方法を見つけると、MRF からの原料を研究開発テスト、新製品開発、および地元の最終市場の開拓に活用できる。
- **27 番街堆肥施設** – 27 番街堆肥施設は RIC 内にある。
- **土地リース** – RIC 内および周辺の不動産は、循環型経済と副産物の相乗効果に重点を置いたリソース クラスターの開発に使用される。土地リースは、廃棄物を利用して新しい製品を作成する市場対応の技術と製造プロセスを備えたイノベーターとメーカーに提供される。土地の開発方法は、競争プロセスによって決定される。
- **ビジネス インキュベーション サービス** – 市は、新興企業や新興技術、製造プロセスのためのビジネス インキュベーターを設置する機会を模索している。概念的には、ビジネス インキュベーターは、イノベーターにオフィス、ワークショップ、サポート サービス、技術サービス、および可能な資金リソースを提供する。

市は、持続可能な水の使用を確保し、連邦の大気質基準を満たす、カーボンニュートラルでエネルギー効率が高く、耐熱性に優れたソリューションを使用して、RIC で最大 20 エーカーの開発を目指している。

**4 月 25 日(金)**

**フェニックス**

**Global Electronic Recycling**

#### **-商業用電子機器のリサイクルと IT 資産の処分**

アリゾナ州フェニックスは、多くの半導体関連企業が拠点設立や投資拡大を発表しており、2020 年以降同州では 35 件以上の半導体事業拡大に関する発表が行われ、半導体産業における雇用創出数、投資額、サプライヤー拡大の項目で全米 1 位となっている。

2024 年 4 月 8 日には TSMC が同州に第 3 工場を建設することを発表し、また米国半導体最大手のインテルも総額約 200 億ドルを掛けて 2 つの半導体工場の建設を進めている。

従って、フェニックスにおける電子機器のリサイクルは単なる成長の副産物でなく、持続可能なビジネスエコシステムの礎となっている。

当社は IT 資産処分、ホワイトグローブ電子機器の梱包と回収のための技術テイクダウン、及び商業用電子機器のリサイクルを専門としている。

廃棄された電子機器から貴重な部品や貴金属を抽出して再利用するプロセスにより未使用の資源に対する需要が減少される。その結果、製造業務に関連するエネルギー消費と二酸化炭素排出量が大幅に削減される。包括的な電子廃棄物管理ソリューションを提供することで電子機器の安全で環境に配慮した廃棄を確実にしている。

4月25日(金)

グレンデール

グレンデール市廃棄物管理局

### —ソフトウェアベースの廃棄物、リサイクル、車両運用製品の管理

寡占化が進む廃棄物業界のゲームチェンジを虎視眈々と狙うスタートアップがある。

ごみ業界の Uber と呼ばれているのが、「ルビコン・グローバル」。2017年に時価総額 10 億ドルを突破し、ユニコーン企業の仲間入りを果たした。ルビコンはごみを収集する企業や行政機関と、ごみを捨てたい企業や一般家庭をアプリで効率的につなぐサービスを展開している。

ごみを収集する事業者は、トラックやごみ処分場を持つ必要がないため、固定費がかからずコストを削減できる。アメリカのセブンイレブンを含む 5,000 社がサービスを利用しており、ルビコン・グローバルは依頼主と収集業者の両方から手数料を徴収することで、収益性を高めている。

2007年設立のルビコン・グローバルは、もともとは小規模なごみ回収業者が国の入札に参加できるバーチャル・マーケットプレイスを構築していた。そこから Uber のように依頼主とごみ回収業者を直接つなぐプラットフォームへと進化した。

8,000 社を超えるベンダー及び運送業者の広範なネットワークを通じてすべての廃棄物及びリサイクルサービスを管理している。プログラムは段ボール (OCC)、プラスチック、紙、金属、ガラス、電子機器のリサイクル、建設解体 (C&D)、有機物リサイクル (食品廃棄物及び堆肥サービス化を含む)、及びシングルストリームリサイクル (SSR) におよぶ。さらには高度なスマートシティソリューションである RUBICONSmartcity™ を提供し、自治体がより効率的で効果的かつ持続可能な廃棄物及びリサイクル業務を達成及び維持できるよう支援している。

近隣の都市は、住民により効果的にサービスを提供するために、互いのイノベーションや戦略から学ぶことがよくあるが、グレンデールはこの分野のリーダーとして際立っている。フェニックス地域の中心にあるかなり大きな都市であるグレンデールは、都市の固形廃棄物収集業務をデジタルの未来へと移行し、その過程で住民や他の部門に利益をもたらす方法についての方向性を示した。

4月28日(月)

サンディエゴ

サンディエゴ市環境サービス部(ESD)

### —同市のゼロ廃棄物計画について

サンディエゴ市の環境サービス部 (ESD) は、家庭ごみ、リサイクル、有機廃棄物リサイクルの収集及び商業地区の路上ごみコンテナの収集と保守を行っている。現在、約 285,000 人の家庭顧客にサービスを提供している。

同市はサンディエゴ市内で収集サービスを提供する企業で構成される非独占的な固形廃棄物収集システムを運営している。これらの企業は市とフランチャイズ契約を結んでおり、フランチャイズ料と AB939 料金を支払っている。

人口 140 万人を超えるサンディエゴ都市圏では、年間約 158 万トンのごみが処理されている。ミラマー埋め立て地には年間約 87 万トンのごみが処理されている。

サンディエゴ市は、ゼロ廃棄物計画を通じて、全ての固形廃棄物が埋め立て地に送られないようにすることを計画している。また、分解時に発生するガスを回収し、エネルギーに変換している。

市のリサイクルプログラムは、材料を再利用し、ミラマー埋め立て地から廃棄物を転用する。ミラマー埋め立て地の資源回収センターと「ワンストップショップ」は、廃棄物の転用を最大限にする。

市の目標：2035年までに

- ・市内で収集されたごみの 90 パーセントを転用
- ・埋立地ガス収集システムの 100% 連続稼働

2040 年までに、市内で収集されたごみの 100% を転用する。また、市には「The Greenery」という高度に設計された資源回収公園があり食品廃棄物を積極的に堆肥化し、緑の廃棄物を販売可能な景観製品に変換し、分解の副産物をエネルギーに変換している。同市の廃棄物ゼロの取り組みについて調査する。

4月28日(月)

サンディエゴ

ミラマー埋め立て地、Greenery 視察

## ーミラマー埋め立て地の概要と現場視察

### 【施設概要】

- ・年間 91 万トンのごみが処分されている。
- ・敷地面積は 1,500 エーカー以上に及び、サンディエゴ市で唯一稼働中の埋め立て地である。
- ・1959 年 12 月 7 日に開設され、それ以来北、南、西の 3 つのエリアで運営されてきた。
- ・南エリアは、1959 年から 1973 年まで運営されていた。北エリアは 1973 年から 1983 年まで運営。現在も運営されている西エリアは、1983 年に開設された。
- ・この安全な覆工付き埋め立て地では、市のごみは規制及び環境要件に従って毎日覆われる。
- ・埋立地の副産物として生成されるメタンは回収され、都市圏バイオソリッドセンターと北部水再生プラントの発電機に合計 10 メガワットの電力を供給する燃料の 90% を供給している。

### 「The Greenery」

高度に設計された資源回収公園で、食品廃棄物を積極的に堆肥化し、緑の廃棄物を販売可能な景観製品に変換し、分解の副産物をエネルギーに変換している。

Greenery では、高品質のマルチ、堆肥、ウッドチップが造られ一般にも提供されている。

4月29日(火)

ロサンゼルス

ByFusion 社

## ープラスチックごみを使った建築用ブロック「ByBlock」について

リサイクル分野に取り組むスタートアップ企業 ByFusion は、プラスチックごみを使った建築用ブロック「ByBlock」を開発。独自の製造ユニットを使い。ペットボトルなどのプラスチックごみを蒸気で圧縮し、壁などで活用できる強度を持たせている。2030 年までにアメリカの年間プラスチック生産量の約 4 分の 1 に相当する 1 億トンのリサイクルを目標としている。

- ・コンクリートブロックよりも CO2 排出量が少ない。
- ・CMU より 54%速く構築
- ・ICC-ES 認定および UL CDPH 準拠
- ・廃棄物ゼロ、カーボンニュートラルプロセス

# 参加募集要項詳細

旅行代金：950,000円

募集人員：20名程度（最少催行人員10名）

申込み締切日：2025年2月28日（金）

## 【旅行代金に含まれるもの】

交通機関の費用：旅行日程に記載の航空運賃（エコノミークラス）

バス料金：旅行日程に記載の移動及び調査、視察のための専用バス料金〈ガイド・通訳料含む〉

宿泊料金：各地における下記ホテルの2人部屋に2人迄

フェニックス：レジデンスイン・コッツデール パサデナ：ハイアットプレイス・パサデナ

サンディエゴ：レジデンスイン・バイマリオット・サンディエゴ 又は同等のホテル

又は同等のクラスホテル利用

食事料金：朝食7回、昼食6回、夕食6回

団長経費：全行程同行いたします。

視察費用：レクチャー実費、訪問に際して要する経費等

訪問先への謝礼：各訪問先担当者へのお土産代他、謝礼等

通訳経費：各都市トップレベルの逐次通訳に関わる経費

添乗員経費：全行程に渡り旅行会社の添乗員が同行致します。

## 【旅行代金に含まれないもの】

燃油サーチャージ：

空港税等：各国空港諸税、空港施設使用料、旅客保安サービス料等

渡航手続実費：旅券印紙代（数次5年間10,000円、数次10年間15,000円）旅券新規取得者

個人的費用：クリーニング代、電話電報代、超過手荷物料金、任意の旅行保険料、その他の個人的性質のもの

1人部屋追加代金：220,000円

ビジネスクラス追加代金：550,000円（米国移動はエコノミークラスとなります。）

## ご旅行条件（要旨）

※お申し込みの際はかならずこの旅行条件書を十分にお読み下さい。

### ● 募集型企画旅行契約

- この旅行は、ティ・シー・アイ・ジャパン(株)観光庁長官登録一般旅行業1139号（以下「当社」といいます）が募集型企画旅行を取り扱い、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。
- 募集型企画旅行契約の内容・条件は、当パンフレット以外に、契約月日による当該募集型企画旅行約款に基づく募集型企画旅行契約書、及び出発前にお渡しする旅行確定書面によります。

### ● 旅行のお申し込み

所定の申し込み用紙に所定の事項を記入し、お一人様につき5万円の申し込み金を添えてお申し込み頂きます。申込書は、ファックス送信でも受付させて頂きます。

### ● 旅行契約の成立時期

上記お申し込み金の受理をもって、契約成立とさせていただきます。尚、申し込み金受領後詳しい条件記載の、旅行契約書を発行させて頂きます。

### ● 旅行代金のお支払い

旅行代金は、出発日の前日から起算して10日前までに、残金（申し込み金を差し引いた金額）をお支払い頂きます。残金を受理後、速やかに最終旅行確定書面（更に詳しい旅行条件書）を発行させて頂きます。

### ● お客様からの旅行契約の解除

お客様は、いつでも次に定める取消料（お1人様につき）をお支払いいただくことにより、旅行契約を解除することができます。この場合、既に收受している旅行代金（あるいは申し込みから所定の取消料を差し引き払い戻し致します。申し込み金のみで取消料に不足する場合は、その差額を申し受けます。

出発の前日より起算して次の取消料を申し受けます。

- ☆ 出発の40日前から31日前まで……………80,000円
- ☆ 出発の30日前から3日前まで……………旅行代金の20%
- ☆ 出発の2日前から旅行開始当日まで……………旅行代金の50%
- ☆ 旅行開始後……………旅行代金の100%

但し、弊社営業時間内といたします。

（営業時間 平日09:00~18:00 土・日・祝休み）

### ● 当社による旅行契約の解除(旅行開始前)

当社は次に掲げる場合において、旅行契約を解除することがあります。

- お客様が病気その他の事由により、当該旅行に耐えられないと認められたとき。
- お客様がその他のお客様に迷惑を及ぼし又は団体旅行の円滑な実施を妨げる恐れがあると認められたとき。
- 参加者の数がパンフレット等に記載した最少催行人員に達していないかつたとき。この場合は旅行開始日の前日から起算してさかのぼって24日目に当たる日より前に旅行を中止する旨を通知します。
- 天災地変、戦乱、運輸機関等における争議行為、官公署の命令その他の当社で管理できない事由によりパンフレット等に記載した旅行日程に従った旅行の安全かつ円滑な実施が不可能となり、又は不可能となる恐れが極めて大きいとき。

### ● ご旅行条件・ご旅行代金の基準

この旅行条件は2024年12月3日を基準としています。又、旅行代金は2024年12月3日現在有効な運賃・規準として算出しています。

取扱旅行会社：ティ・シー・アイ・ジャパン株式会社

観光庁長官登録旅行業1139号（社）日本旅行業協会正会員

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-20 虎ノ門実業会館3階

Tel: 03(3508)1972 Fax: 03(3592)1853

担当：小林

総合旅行業務取扱管理者：畠山 信一

米国の循環型経済の普及に向けた取り組み実態調査

参加申込書

※ 記入事項に基づいて、ご渡航に必要な書類を作成いたしますので、わかりやすく楷書でご記入下さい

申込先FAX：03-3592-1853

出発日：2025年4月23日（水）

観光庁長官登録旅行業第1139号  
 ティ・シー・アイ・ジャパン(株)  
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-20  
 虎ノ門実業会館3階  
 TEL:03(3508)1972 FAX:03(3592)1853

フリガナ 氏名			性別	男・女	婚姻暦	既婚・未婚
生年月日	昭和 年 月 日 (西暦 年) 平成 年 月 日 (年齢 才)	本籍地	都道府県			
フリガナ 現住所	〒		TEL			
勤務先  注) 英文名称等指定のある場合は必ずご記入下さい。	和文	名称 部課名 役職名				
	英文	名称 部課名 役職名				
	住所	〒		TEL		
				FAX		
		携帯				
e-mail:		@				
渡航中の連絡先	住所 1. 現住所と同じ 2. 〒		TEL			
			携帯			
	フリガナ 氏名		続柄			
旅券について  **残存期間** 2025年7月23日以降有効な旅券が必要です。  米国入国時90日以降残存を推奨	旅券番号		発行年月日 年 月 日			
	現在申請中		受領予定日	2025年 月 日		
	持っていない		申請予定日	2025年 月 日		
	パスポート記載のローマ字 又は これから申請(済)するローマ字					
	姓		名			
有効なパスポートをお持ちの方はお写真のページのコピーも添えてください。						
飛行機のクラス希望	<input type="checkbox"/> ビジネスクラス利用 【別途550,000円】 <input type="checkbox"/> エコノミークス利用					
お部屋の希望	<input type="checkbox"/> 1人部屋利用 【別途220,000円】 <input type="checkbox"/> 2人部屋利用 【相方のお名前: 】					
米国ESTA登録	<input type="checkbox"/> 旅行会社にて依頼【別途6,600円】 <input type="checkbox"/> 既に有効なESTA登録あり <input type="checkbox"/> 各自にて登録(登録方法をお送り致します)					
海外旅行傷害保険	<input type="checkbox"/> 旅行会社で加入希望 <input type="checkbox"/> 個人で加入					

(個人情報の取扱について)  
 ご記入頂きました個人情報につきましては、ティ・シー・アイ・ジャパン(株)がご旅行に関わる手配業務に利用致します。(航空機、ホテル手配、出国書類作成、査証代理申請、緊急連絡先確認等) これら目的以外に無断で利用することはありません。尚、ご提出頂きました個人情報は弊社にて厳重に管理いたします。